

令和3年度 第2回 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた検討委員会

観光系路線バスの コンタクトレス決済導入に係る実証

－中間報告－

令和4年2月14日

1. 実施概要

❖ウィズコロナ・アフターコロナの新たな生活様式への対応及びインバウンド需要回復を見据え、観光系路線バスにおいて、令和4年2月1日から、コンタクトレス決済（非接触型決済）の導入に関する実証を開始した（実証期間：～令和4年3月24日）。

対象とする観光系路線バス会社

- ・主に那覇空港を発着又は経由する観光客の利用が多い下記の5事業者とした。
また、各社の運行車両台数を考慮し協議のうえ、本実証では下記に示す台数の決済端末を設置した。

対象とする観光系路線バス会社	対象とする路線	今回の設置台数
東京バス	2路線 ・ハーレーエクスプレス ・ウミカジライナー	8台
カリー観光	3路線 ・北谷ライナー：瀬長島～那覇空港～パルコシティ～北谷 ・パルコシティシャトルバス：おもろまち駅～パルコシティ ・瀬長島ライナー：瀬長島～那覇空港～おもろまち駅 (豊崎ライナー、美ら海ライナーは運休中)	3台
沖縄エアポートシャトル	2路線 ・リゾートライナー ・エアポートライナー	7台
沖縄バス（リムジンバス）	空港リムジンバス（全路線） ※空港リムジンバスの沖縄バス販売所窓口へ設置	4台
やんばる急行	2路線 ・空港線：那覇空港～運天港 ・四島線：瀬底島～古宇利島	8台
合計		30台

1. 実施概要

導入したコンタクトレス決済の概要

- ・車両の運賃箱付近や販売所窓口（沖縄バス）に決済端末を設置した。
- ・本事業ではクレジットカードのタッチ決済（Visa）を全対象事業者へ導入した。
- ・また、QRコード決済については、各社ごとのニーズに合わせて、個別に検討し、導入した。

クレジットカードタッチ決済(Visa)



本実証実験において導入した決済手段

対象とする観光系路線バス会社	タッチ決済（Visa）	QRコード決済
東京バス	○	○ (PayPay、Alipay)
カリー観光	○	○ (PayPay、Alipay、J-Coin Pay)
沖縄エアポートシャトル	○	—
沖縄バス（リムジンバス）	○	—
やんばる急行	○	—

* やんばる急行は本実証前よりクレジットカードによる決済や電子マネー等に独自で対応。また、沖縄エアポートシャトルは実証前よりQRコード決済（楽天ペイ、Alipay、WeChatペイ）に独自で対応。

【参考：コンタクトレス決済のUI（画面イメージ）】

①スタート画面

【乗車時に運賃をお支払いする場合】
・降車バス停を選択してください。

【降車時に運賃をお支払いする場合】
・乗車バス停を選択してください。



②ご利用人数の選択

・次に、ご利用になる人数を、画面の「+」「-」ボタンで選択してください。（初期状態は「大人1名」選択済です）

・ご利用人数・支払い合計額を確認し、画面右下の「支払い」ボタンをタップしてください。



③決済方法選択画面

・決済方法のボタンをタップしてください。

・Visaのタッチ決済の場合には、「クレジットカード決済（タッチ決済）」をタップしてください。



④決済媒体の読取画面

【Visaのタッチ決済の場合】

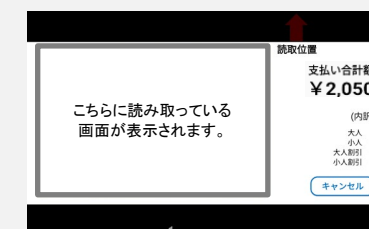
・画面が表示されましたら、タッチ対応のクレジットカードを画面上のマークにタッチして完了です。

【QRコード決済の場合】

・画面が表示されましたら、「読取位置」にQRコードをかざして完了です。



【Visaのタッチ決済の場合】



【QRコード決済の場合】

2. 周知広報

実施概要

コンタクトレス決済導入の実証にあたり、観光客等に広く拡散・周知するため、以下の取組を実施した。
具体的な内容は次ページ以降に掲載する。

取組	内容
①リーフレットの配布	コンタクトレス決済導入の実証内容を記載したリーフレットを作成し、対象とするバス会社、那覇空港や那覇バスターミナルの観光案内所、県内の観光協会等に配布した。
②ポータルサイトにおける案内	本事業において運営しているポータルサイトにおいて、コンタクトレス決済導入の実証に関する内容を掲載した。
③バス車内での案内	バス車内において、利用者がコンタクトレス決済（クレジットカードのタッチ決済やQRコード）が利用可能であることを認識できるよう、A4サイズの案内を作成し、車内に掲出した。
④OCVBNews2月号への掲載	OCVBが賛助会員（県内の観光関連事業者）向けに毎月発刊している「OCVBNews」の2月号（2月1日配信）においてコンタクトレス決済の実証開始に関する記事を掲載した。
⑤沖縄県のプレスリリース	沖縄県より、実証開始日の前日（1月31日）にプレスリリースを発表した。

2. 周知広報

①リーフレットの配布

公共交通で快適な沖縄観光を

クレジットカード等のコンタクトレス決済の導入ですます便利に!

沖縄県では、観光客の皆様に安心、快適にバスをご利用いただくため、令和4年2月1日から3月24日まで観光客の利用が多い那覇空港を発着又は経由する一部路線バスにおいてコンタクトレス決済の実証導入に取り組んでいます。

導入される決済の種類 **Visaのタッチ決済、各種QRコード(二次元コード)決済**

※その他、ご利用可能な決済方法は事業者ごとに異なります。詳しくは以下をご確認ください。

対象となるバス会社	決済方法
沖縄エアポートシャトル有限責任事業組合(リゾートライナー、エアポートライナー)	現金、Visaのタッチ決済、QR決済(楽天ペイ、Alipay、WeChatペイ)が利用可能 また、Webサイト(事前予約)で事前決済が可能
沖縄バス株式会社(空港リムジンバスの沖縄バスケット販売窓口)	現金、Visaのタッチ決済が利用可能 また、Webサイト(発車オーライネット)で事前決済が可能
有限会社カーリ観光(北谷ライナー、瀬長島ライナー、パルコシティシャトルバス)	現金、Visaのタッチ決済、QR決済(Alipay、PayPay、J-Coin Pay)が利用可能
東京バス株式会社(ハーレーエクスプレス、ウミカジライナー)	現金、Visaのタッチ決済、QR決済(Alipay、PayPay)が利用可能
合同会社やんばる急行バス(空港線、四島線)	現金、クレジットカード、電子マネー(楽天Edy、WAON、nanaco、ID等)、QUICPayが利用可能 また、Webサイト(WILLER TRAVEL)で事前決済が可能

※合同会社やんばる急行バスでは、2020年よりVisaのタッチ決済に対応済みです。
※一部の路線、便ではご利用いただけない場合もあります。

ご利用方法例

バスの運賃箱付近や乗客窓口には設置されている専用機器に、Visaのタッチ決済に対応したカードをかざしていただくことで運賃を支払うことができます。

このマークのあるVisaカードで運賃の支払いが可能です。

画面のマークにカードをかざしてください。

詳細はこちらよりご確認ください。
➡プレスリリース資料(PDF)

Googleマップや乗換検索サイト等で公共交通による観光地へのアクセス方法を確認できます!

※沖縄県全体の公共交通の運行情報をGoogleマップに提供するとともに、その他の乗換検索サイトやアプリへの情報提供を進めています。

普段とは違うスピードで地元の人との触れ合いがある

観光スポットの情報とアクセスが分かりやすい

レンタカーを使えない方や外国人も安心して移動できる

車窓からの風景やお酒を楽しむ旅が気軽にできる

取り組みについて

沖縄県では、観光2次交通の利便性向上に向けた取り組みとして、公共交通と観光情報のオープンデータ化を進めています。沖縄県の公共交通情報をGoogleマップに提供し、検索できるようになりました。今後も引き続き沖縄県全体のより充実した受入環境の構築に向けて取り組めます。

沖縄県観光2次交通ポータルサイト

公共交通を利用した沖縄観光のモデルコース

沖縄県 文化観光スポーツ部観光振興課

▲リーフレットの内容

②ポータルサイトにおける案内

OKINAWA Transit & Tourism OpenData

公共交通で快適な沖縄観光を

Googleマップなどの経路検索サイト等で公共交通による観光地へのアクセス方法を確認できます!

1 Tap

2 Search

3 Go

沖縄県では、観光2次交通の利便性向上に向けた取り組みとして、公共交通と観光情報のオープンデータ化を進めています。

公共交通と観光情報のオープンデータ化を進めています。

沖縄県全体の公共交通の運行情報を

Google マップに提供することで、検索できるようになりました。

観光客の皆様に安心、快適にバスをご利用いただくため、令和4年2月1日より、観光客の利用が多い那覇空港を発着又は経由する一部路線バスにおいて、コンタクトレス決済の実証導入に取り組んでいます。

今後も引き続き、より充実した受入環境の構築に向けて取り組みます。

チラシPDFダウンロード

▲ポータルサイトの内容

2. 周知広報

③バス車内での案内（東京バスの例）

ご利用いただけます

クレジットカード
(Visaのタッチ決済のみ可能)

QRコード

PayPay

Alipay

このマークが印刷されているVisaカードで速い支払いが可能です。

画面上のマークにタッチ対応のカードをかざしてください

沖縄県では、観光客の公共交通の利便性向上及び利用促進を図ることを目的として、令和4年2月1日～3月24日まで、クレジットカード等のコンタクトレス決済導入に係る実証実験を実施。

沖縄県

◀バス車内の案内例



▲案内の様子（運転手の背面に設置）



▲案内の様子（乗車口付近に設置）

2. 周知広報

④OCVBNews2月号への掲載

観光系路線バスにおいてコンタクトレス決済導入に係る実証実験を開始！

企画・施設事業部
企画課

■観光系路線バスにおいてクレジットカード等のコンタクトレス決済が利用可能に！

沖縄県では、観光客の公共交通の利便性向上及び利用促進を図ることを目的として、令和4年2月1日(火)から、観光客の利用が多い那覇空港を発着又は経由する一部路線バス(観光系路線バス)において、クレジットカード等のコンタクトレス決済を利用可能とする実証実験を実施します。

本実証実験では、路線バス事業者5社の協力の下、現在、世界的に普及が進んでいるタッチ決済機能のあるクレジットカードなどを利用して、キャッシュレスで路線バスに乗り込める環境を構築し、その導入効果を検証することで、県内公共交通機関への普及に向けて取り組むこととしています。

【実証実験の概要】

実証期間	2022年2月1日(火)～2022年3月24日(木) ※今後の実証実験の進捗状況等により、終了時期は変更する場合があります。
対象となるバス会社・路線 (※五十音順に記載)	■沖縄エアポートシャトル有限責任事業組合 ⇒リゾートライナー、エアポートライナー ■沖縄バス株式会社 ⇒空港リムジンバス(全路線) ※空港リムジンバスの沖縄バス販売所窓口への実証導入となります。 ※バス車内での決済はできませんので予めご了承ください。 ■有限会社カリー観光 ⇒北谷ライナー、瀬長島ライナー、パルコシティシャトルバス ■東京バス株式会社 ⇒ハーレーエクスプレス、ウミカジライナー ■合同会社やんばる急行バス ⇒空港線、四島線 ※一部の路線、便ではご利用いただけない場合もあります。
利用できる決済手段	Visaのタッチ決済、各種QRコード(二次元コード)決済 ※QRコード(二次元コード)決済については各社により異なります。

■Visaのタッチ決済のご利用方法

バスの運賃箱付近(沖縄バス株式会社は券売窓口)に設置されている読取機器に、Visaのタッチ決済に対応したカードをかざしていただくことで運賃をお支払いいただけます。



■観光2次交通機能強化事業(沖縄県)の取り組みについて

沖縄県では、観光2次交通の利便性向上に向けた取り組みとして、公共交通と観光情報のオープンデータ化を進めています。また、観光2次交通ポータルサイトでは、コンタクトレス決済導入に係る実証実験の詳細な情報や、観光2次交通に関する活動内容(勉強会や委員会の資料等)、公共交通を利用したモデルコース等も掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

【観光2次交通ポータルサイト】

<https://oki2k.jp/>



■お問合せ窓口

◆株式会社オリエンタルコンサルタンツ:
TEL : 098-860-8403 E-mail : oki.2k@oriconsul.com

◆OCVB企画・企画課DMOチーム:(担当)神谷・渡辺、酒井
TEL : 098-859-6126 E-mail : dmo@ocvb.or.jp

事業概況

0

⑤沖縄県のプレスリリース



令和4年1月31日
沖縄県文化観光スポーツ部
観光振興課



「観光系路線バスにおけるクレジットカード等のコンタクトレス決済導入に係る実証実験」の開始について

沖縄県では、観光客の公共交通の利便性向上及び利用促進を図ることを目的として、令和4年2月1日(火)から、観光客の利用が多い那覇空港を発着又は経由する一部路線バス(観光系路線バス)において、クレジットカード等のコンタクトレス決済を利用可能とする実証実験を実施いたします。

本実証実験では、路線バス事業者5社の協力の下、現在、世界的に普及が進んでいるタッチ決済機能のあるクレジットカードなどを利用して、キャッシュレスで路線バスに乗り込める環境を構築し、その導入効果を検証します。

公共交通でのコンタクトレス決済の普及により、乗務員と乗客の接触が低減され、安全・安心・快適に路線バスを利用できる環境の構築に繋がります。

また、キャッシュレス化により、公共交通の利用状況を定量的に把握、分析することが可能となることから、引き続き、公共交通の利便性向上を通じて、観光客の公共交通の利用促進を図ってまいります。

記

【実証実験の概要】

■日 時: 令和4年2月1日(火)～令和4年3月24日(木)

※実証実験の進捗状況等により、終了時期が変更となる場合があります。

■本実証実験の協力バス事業者: [社名は50音順に記載]

- 沖縄エアポートシャトル有限責任事業組合
- 沖縄バス株式会社
- 有限会社カリー観光
- 東京バス株式会社
- 合同会社やんばる急行バス

■本実証実験で導入する端末により利用できる決済手段

: Visaのタッチ決済、各種QRコード(二次元コード)決済

※各種QRコード決済の内容や利用方法等については、別紙参照。

■本リリースに関するお問い合わせ

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課

担当: 石原、仲里 TEL : 098-866-2764 FAX : 098-866-2765

オリエンタルコンサルタンツ・沖縄観光コンベンションビューロー共同企業体

担当: 松田、佐藤 TEL : 098-840-2503 FAX : 098-840-2517

2. 周知広報

その他（バス事業者での案内）

ウミカジライナー・ハーレーエクスプレス クレジットカード等のコンタクトレス決済 導入でますます便利に！

バス運賃のお支払いに下記の決済がご利用いただけます



このマークがあるVisaカードでご利用いただけます

- 1 バス降車のお支払いの際、
乗車地を選択してください



- 2 人数を選択した後、支払いボタン



- 3 決済方法を選択してください



- 4 Visaのタッチ決済は、音が鳴るまで画面に
カードをかざしてください

QR決済は読み取り位置に音が鳴る
までQRコードをかざしてください



東京バスは「貸切バス事業者安全性評価
認定制度」の3つ星認定を受けています。



時刻表・
運賃等は公式HPへ



東京バス TOKYO BUS

沖縄営業所

〒901-0221 沖縄県豊見城市座安 324-1 TEL: 098-850-0011/FAX: 098-850-7600

▲東京バスによる案内

3. 実施状況

①利用状況

- ・ 2月1日より実証を開始し、新型コロナの影響によりバスの利用者が減少している状況ではあるが、タッチ決済（Visa）やQRコード決済の利用が一定程度みられている。

⇒実証開始後に、バス利用者を対象に「バス運賃の支払い方法」や「コンタクトレス決済の普及による利便性向上」などに関するアンケート調査を実施しており、分析を行う予定である。

②バス会社からの意見（課題等）

- ・ 今回の端末機器は携行式であり、今年度の事業においては、1日の中で同時に運行する車両台数の機器を各社に導入しているが、遅延等により機器の引き渡しに難しい等の理由により、機器の追加ニーズがある。
- ・ 端末のバッテリーが最終便まで持たず、夕方頃に電源が切れてしまうため、車内電源を使用し常時充電しながら運用している。
 - * 端末の稼働可能時間は10時間程度であるが10時間以上運行する車両もあり、バッテリーがもたない状況がある。
 - * 一部の機器で10時間経たないうちに、バッテリー切れとなってしまう症状等が見られるとの声がある。前日の充電ができてなかった可能性含めて詳細確認中。

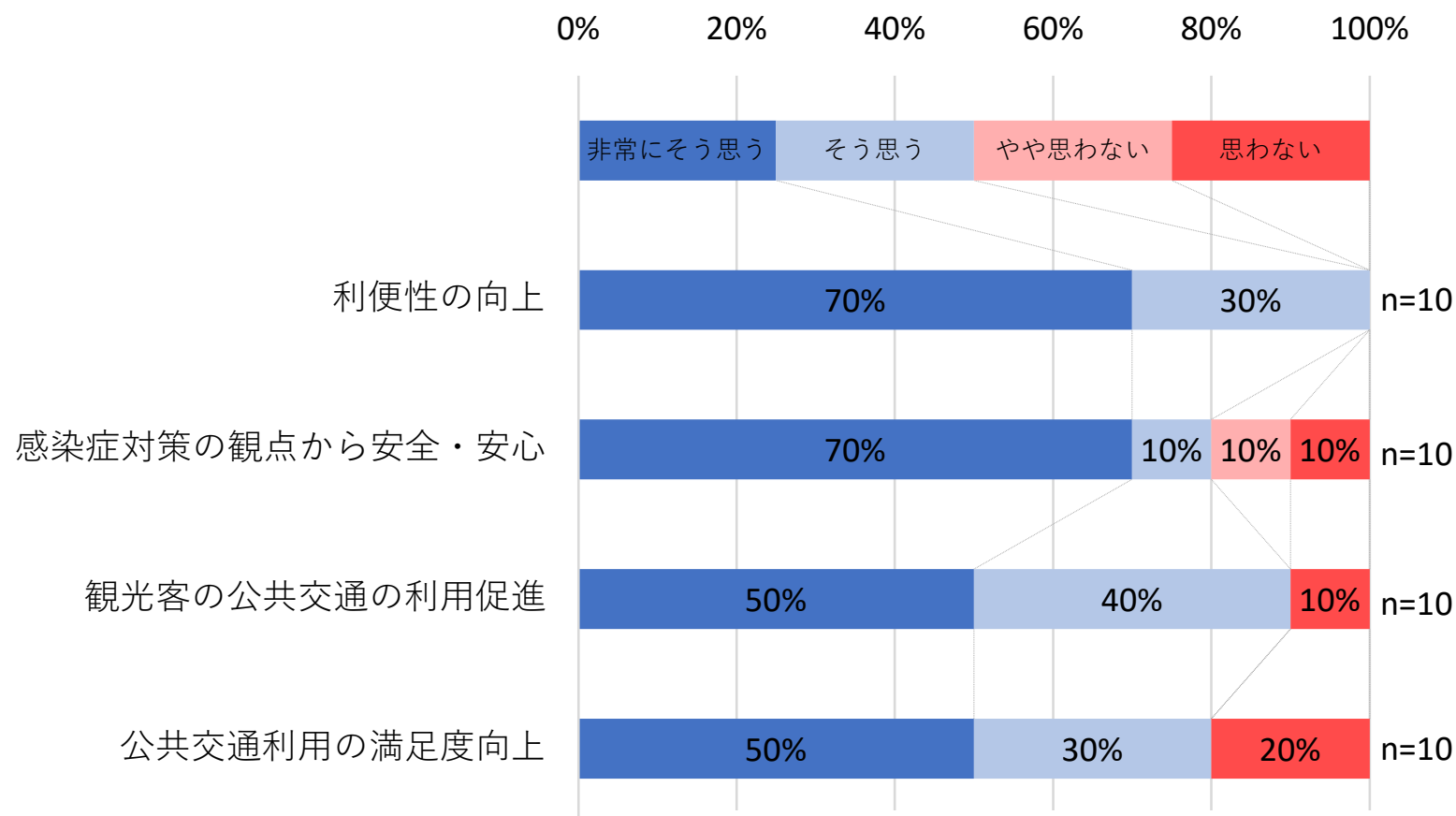
3. 実施状況

参考：コンタクトレス決済導入に係るアンケート調査結果（速報）

- ・バス利用者を対象として実施しているアンケート調査の結果（速報）を以下に示す。

4つの観点において「非常にそう思う」または「そう思う」の回答がどれも80%以上となっており、バス利用者もコンタクトレス決済に関心があり有効であることがわかる。

【コンタクトレス決済の普及による有効性】

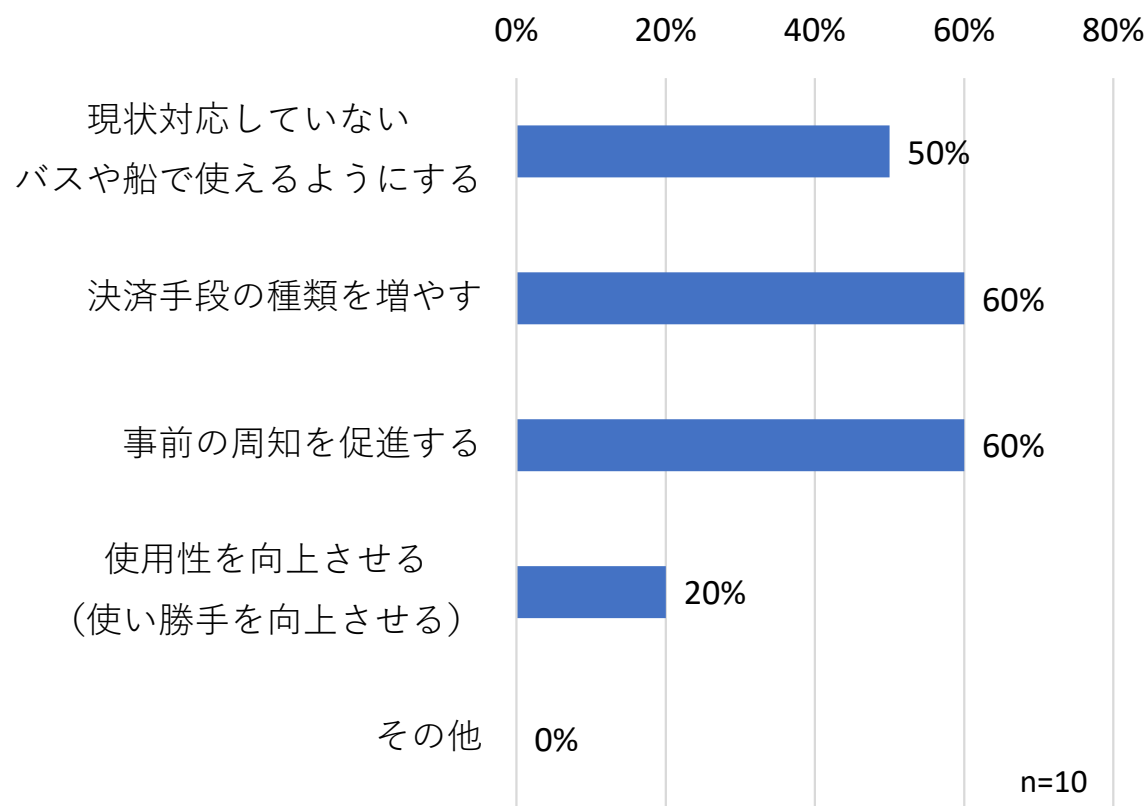


3. 実施状況

コンタクトレス決済の取組を進めるうえで重要なことについて、「決済手段の種類を増やす」、「事前の周知を促進する」が60%と多い。

コンタクトレス決済を導入して欲しい交通機関について、「タクシー」が80%と最も多く、次いで「路線バス」が70%と多い。

【コンタクトレス決済の取組を進めるうえで重要なこと】



【コンタクトレス決済を導入して欲しい交通機関】

